

日本史 B

1

次の文を読み、下記の問に答えなさい。下線部と問の番号は対応している。

鎌倉時代後期には、¹農業の発達と軌を一にして経済活動も活発になった。人が集まりやすい荘園・公領の中心地や交通の要地、寺社の門前などでは、定期的に市が開かれるようになり、京都・奈良・鎌倉などでは²常設の小売店も見られるようになる。そこでの取引手段としてもっぱら用いられたのが、中国から輸入された宋銭であった。米などの現物にかわって、貨幣が商取引の手段として一般化しはじめる。

貨幣は、古代にも存在した。7世紀の³天武天皇の時代には、中国にならった国家体制を整備する一環で富本銭が鑄造された。また、708年には⁴()の鑄造が始まり、⁵都城の造営費用の支払いなどに用いられた。その後、10世紀半ばまでの間に、さらに11種類の貨幣が鑄造されることになるが、京・畿内以外の地域では、あまり流通しなかったと考えられている。

室町時代になると、経済活動の規模はさらに拡大した。宋銭は、この時代も使用されていたが、それに加えて⁶朝貢貿易の交易品としてもたらされた明銭も流通しはじめる。しかし、それでも需要を満たすことができなくなってくると、粗悪な私鑄銭が出回るようになった。そのため、貨幣の質を見極めた上で取引をしようとする風潮が強まり、⁷円滑な商取引の妨げになった。

問1 下線部1にある鎌倉時代の農業の発達に関係ないものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 二毛作 イ. 大唐米 ウ. 牛馬耕 エ. 荏胡麻 オ. 干鰯

問2 下線部2は、当時何と呼ばれていたか、答えなさい。

問3 下線部3は、684年に豪族を天皇中心の新しい身分秩序に編成する()を定めた。()にあてはまる語句を答えなさい。

問4 下線部4の()にあてはまる貨幣の名前を漢字4文字で書きなさい。

問5

(1) 下線部5は、中央を南北に走る()大路によって二分され、その東側が左京、西側が右京と呼ばれた。()にあてはまる語を答えなさい。

(2) 下線部5の内部には、729年に謀反の疑いをかけられて自殺した()の邸宅があった。その跡地から出土した膨大な量の木簡は、当時の生活の様子を伝える貴重な史料である。()にあてはまる人物名を答えなさい。

問6

(1) この時期の朝貢貿易では、相手国が交付した()と呼ばれる証票を持参し、相手国の底簿と照合する手続きがとられていた。()にあてはまる語を答えなさい。

(2) 朝貢貿易の形式を続けることを屈辱と考えた将軍()は、この貿易を中断した。()にあてはまる人物名を答えなさい。



問7 下線部7に対して、幕府や大名は、良質な貨幣の基準や悪質な貨幣との交換比率を定めるなどして貨幣流通の円滑化をはかる（ ）令を發布した。（ ）にあてはまる語句を答えなさい。

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、問9を除き、下線部と問の番号は対応している。

武家政権では、武家と朝廷とのかかわりは重要な意味を持っていた。武家は朝廷より官位を得て自らの権威を高めていくことがあった。豊臣秀吉は朝廷から関白、太政大臣に任命された。さらに秀吉は、()に (A) 天皇を迎え入れることで、朝廷の権威を利用した。

一方で、徳川家康は武家の意向に朝廷をしたがわせる方針をとった。家康は朝廷と公家の統制法である、()を制定し、朝廷の監視を行う地方組織である()を設置した。これに対し、()が朝廷側の幕府の窓口となった。

その方針は徹底されていた。例えば、紫衣事件をきっかけに (B) 天皇が (C) 天皇に譲位する出来事があった。この際、幕府は譲位を認めたものの摂家と()に対して朝廷の統制を命じた。また、朝廷内部でも統制が行われており、1758年には公家達に尊王論を説いた竹内式部が処分される事件も起きた。

幕末になると、老中阿部正弘が当時の重大な出来事であるペリー来航にかかわる報告を朝廷に行い、日米和親条約を締結した。これはそれまでの幕府の意向に朝廷をしたがわせる方針とは一転したものであった。結果的に朝廷への報告は、朝廷の権威を高めることになった。幕府は孝明天皇の妹である()を十四代将軍家茂の正室を迎え入れることで朝廷との融和をはかることとなった。

問1 太政大臣に就任した人物を下から2人選び、記号で答えなさい。

ア. 平清盛 イ. 源頼朝 ウ. 源実朝 エ. 足利尊氏 オ. 足利義満 カ. 織田信長

問2 この城を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 二条城 イ. 大坂城 ウ. 聚楽第 エ. 伏見城

問3 この法を答えなさい。

問4 この組織を5字で答えなさい。

問5 この役職を答えなさい。

問6 この事件を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 宝暦事件 イ. 明和事件 ウ. 蛮社の獄 エ. 尊号一件

問7 この条約に含まれないものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 下田・箱館を開港すること
イ. アメリカに対する領事裁判権を認めること
ウ. アメリカに最恵国待遇を与えること
エ. アメリカ船が必要とする燃料や食料を供給すること



問 8 この人物を答えなさい。

問 9 空欄 A ～ C に当てはまる天皇の組み合わせで正しいものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. A 後陽成 B 後水尾 C 明正
イ. A 後陽成 B 明正 C 後水尾
ウ. A 後水尾 B 後陽成 C 明正
エ. A 後水尾 B 明正 C 後陽成
オ. A 明正 B 後陽成 C 後水尾
カ. A 明正 B 後水尾 C 後陽成

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお下線部と問の番号は対応している。

幕末、¹通商条約が結ばれると、²開港場で貿易が始まった。最大の貿易港は横浜港で、生糸、茶、蚕卵紙などが輸出され、毛織物や綿織物、武器、艦船などが輸入された。貿易の開始は人々の生活にも大きな影響を与えた。生糸輸出急増で、国内絹織物生産に必要な原料の生糸が欠乏し、³絹織物産地では暴動も起こった。また、⁴生糸などの産地の商人は、商品を直接開港場に送ったために、それまでの流通機構は崩れ、物価も上昇した。⁵さらに1866年に調印された（ ）で輸入税が平均20％から原則5％に引き下げられたことで、安価な綿織物や砂糖の輸入が拡大し、国内の綿織物業や製糖業に大きな打撃を与えた。

1880年代後半に始まった企業勃興を契機に産業革命が進展し、貿易額は拡大した。政府の⁶海運奨励策に支えられて、⁷日本の海運会社によって、⁸インド、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアなどへ遠洋航路が開かれ、貿易の発展を支えた。これら輸出入で三井物産に代表される商社が活躍し、⁹（ ）銀行が貿易金融を支えた。

問1 幕府はアメリカとの日米修好通商条約締結に続き、オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも類似の通商条約を結んだ。これらを総称して何と呼ぶか、答えなさい。

問2 外国人は開港場など一定地域に限って居住・営業を許可された。この地域を何と呼ぶか、答えなさい。

問3 この時期の代表的な絹織物産地を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 輪島 イ. 西陣 ウ. 野田 エ. 有田

問4 これに対し1860年に、幕府が重要輸出品を対象に江戸問屋を経由させることを命じた法令の名称を答えなさい。

問5 空欄に当てはまる適語を答えなさい。

問6 1890年代～1900年代の政府の海運奨励策として当てはまらないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 一定水準以上の鉄鋼汽船の造船を奨励するため、造船奨励法を公布した。

イ. 一定水準以上の鉄鋼汽船の就航を支援するため、航海奨励法を公布した。

ウ. 船舶原料の鉄鋼輸入のため、輸出入品等臨時措置法を公布した。

エ. 欧米およびオーストラリア航路の支援のため、遠洋航路補助法を公布した。

問7 三菱会社と共同運輸会社が合併して生まれた日本最大の海運会社の名称を答えなさい。

問8 1893年に初の遠洋航路としてインド・ボンベイへの航路が開設された。この航路によってインドから日本に運ばれた最大の輸入品を一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 綿織物 イ. 絹織物 ウ. 綿花 エ. 羊毛

問9 この銀行は1880年に開業し、1887年に特殊銀行化した。空欄に当てはまる銀行の名称を答えなさい。

4 次の文と表を読み、下記の問に答えなさい。

第1次世界大戦の後、アメリカ大統領ウィルソンの呼びかけによって、国際連盟が結成され、軍縮の気運が高まった。この気運の中、1921年にアメリカの呼びかけでワシントン会議が開催され、複数の条約が調印された。この中には海軍軍縮条約も含まれていた。これは列強間の協調を意図したものであった。さらに、1930年にはロンドン海軍軍縮条約も調印された。これら2つの条約の主な内容をまとめたのが下表である。

条約名	内容その他
ワシントン海軍軍縮条約 (調印1922年)	・(A) 艦保有量の制限 ・今後10年間の(A) 艦の建造禁止 ・(A) 艦の保有比率については、イギリス・アメリカ各5に対して日本(B)
ロンドン海軍軍縮条約 (調印1930年)	・(A) 艦の保有制限および建造禁止を1936年まで延長 ・(C) 艦(巡洋艦・駆逐艦・潜水艦)の保有量の制限

政府は海軍軍令部長の反対を押し切って、ロンドン海軍軍縮条約に調印した。そのため、当時の野党、海軍軍令部などから(D) 干犯であるとして、激しく批判された。ついには、条約調印時の首相は東京駅で襲撃され、内閣は退陣に追い込まれた。1936年にはワシントン・ロンドン両海軍軍縮条約失効を迎え、軍備拡張計画が推進され、日本はやがて第2次世界大戦に向かうことになる。

問1 空欄 A, C にはそれぞれの条約およびそれにかかわる文書で示された艦の区分が入る。それぞれ二文字で記しなさい。

問2 空欄 B に当てはまる数値を算用数字で答えなさい。

問3 両海軍軍縮条約の参加国は5カ国であった。参加国の一つを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 中国 イ. イタリア ウ. ドイツ エ. ロシア

問4 ワシントン海軍軍縮条約の日本全権を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 加藤友三郎 イ. 西園寺公望 ウ. 牧野伸顕 エ. 田中義一

問5 ロンドン海軍軍縮条約調印時の内閣について、次の問に答えなさい。

(1) 首相の氏名を答えなさい。

(2) 外務大臣の氏名を答えなさい。

(3) (1)の人物が当時所属していた政党を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 憲政会 イ. 立憲民政党 ウ. 立憲同志会 エ. 立憲政友会

問6 空欄 D に当てはまる、大日本帝国憲法第十一条に示されている天皇の権限を答えなさい。